



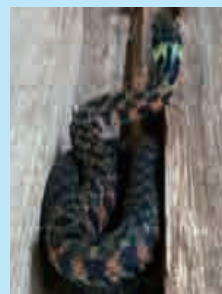
エコネット通信

VOL.45

森を 川を この里の自然を 子ども達へつなげたい！

ホームページ : <http://tono-econet.org/>

フェイスブックでも情報発信中！



森のがっこうの薪棚にいたヤマカガシ。

森の中に響き渡る子ども達の歓声

森フェスに230人の市民が来場！

太鼓の音でオープニング

6月21日(土)に4年目となる森フェスが開催され、230名(名簿記入者)が遠野、薪の駅近くの森(松崎町内)に集いました。

オープニングは、今年も葉研太鼓親の会。

森中に太鼓の音が響き渡り、熊さんも驚いて逃げてくれたでしょう。その後ステージでは、森ヨガ、ダンス体験会、合唱発表と続きました。そして、いよいよ今回のメインゲストである丸山宗利(九州大学総合研究博物館准教授)さんの講演。丸山さんは、NHKラジオ「子ども科学電話相談」の昆虫の先生ということで、ステージ前には虫好きな子ども達(大人も)が大勢陣取り、丸山先生の昆虫にまつわる話に聞き入っていました。また、講演の途中からは、昆虫に関する丸山先生への質問



昆虫の魅力を語る丸山宗利先生。



トトロ広場のブランコは大人気。



各種体験ブースも親子連れで賑わっていました。



マルシェのお弁当は早々に売り切れました。

コーナーとなり、虫好きな子ども達から、かなり専門的な質問があり、驚かされました。また、大人からは、「嫌な匂いを出すカメムシとの付き合い方はどうすればいい?」という質問があり、先生から、「人間の都合の良いように自然界はできていなくて、カメムシにはカメムシの生きる役割を果たしている」と。先生の答えに、なるほどと感心しました。その後ステージでは、人形劇、バレエ公演、バンドの演奏があり、夕暮れ近くまで盛り上がりしました。

体験コーナーも大盛況

ステージ以外でも、森フェスは体験コーナーが人気。とりわけ、子ども達が集まるのが「トトロ広場」。森の中の大きな栗の木から

ぶら下がるブランコは、順番待ちの子どもが並び続けるほどの大人気。ロープスライダーや巨大丸太シーソーと合わせて、子ども達の歓声が絶えず聞こえてきました。その他、ツリークライミングやネイチャーゲーム、アクト体験、薪割りなども人気でした。また、講演を終えた丸山先生との森の自然観察会も、子どもから大人までが多数参加し、森フェス周辺の森で昆虫の観察ができました。

マルシェも人気

森フェス会場内にはマルシェのタープテントが立ち並び、飲食や手作り品などを買求める人で賑わい、早々に売り切れとなる店もありました。

更に、夕方には無料の焚き火ご飯と豚汁のお振る舞いがあり、その後18時からは、焚き火を囲んでの「焚き火夜会」を行いました。参加者は、昼の部と比べて少人数でしたが、火を見ながら語り、歌を歌ったり、ホタルを見たり。素敵な夏至の夜を過ごしました。

主な活動の予定（8月～9月）

月日	タイトル	内容	活動場所
8/2・17・24・9/7	シャワークライミング体験会	シャワークライミング他	森のがっこう
8/3(日)	薪づくり倶楽部	薪づくり	薪の駅
8/4(月)・15(金)	おにぎりともそ汁の会	おにぎりともそ汁づくり	森のがっこう
8/9(土)～12(火)	夏休みもりっこキャンプ	小中学生対象3泊4日キャンプ	森のがっこう
8/10(日)	山仕事ははじめの一步(入門)講座	刈り払い・間伐実習	松崎実習林他
8/16(土)	どんぐりのぼうし	幼児親子対象森暮らし体験	森のがっこう
8/22・9/26	森のがっこう・わらクラブ	ワラ細工体験会	森のがっこう
8/23(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
8/24(日)	森業倶楽部	ツル採集、ツル細工	薪の駅他
8/30(土)～31(日)	古のお山かけモニターツアー	早池峰山へのお山かけ再現	早池峰交流館他
9/5(金)	ヘルスツーリズム団体受け入れ	オッホーの森歩き他	森のがっこう
9/5(金)夜	森のがっこうの読書会	読書会	森のがっこう
9/6(土)	どんぐりのぼうし・赤ちゃん編	乳児親子対象森暮らし体験	森のがっこう
9/7(日)	薪づくり倶楽部/森の笠地蔵P	薪づくり、薪配達他	薪の駅、高齢者宅
9/13(土)	おひさまのねっこ	小学生対象の森暮らし体験	森のがっこう
9/14(日)	山仕事ははじめの一步(入門)講座	間伐・滑車の使い方実習	松崎実習林他
9/20・27(土)	「すっぴん土曜日」放送(代表千葉)	遠野エコネットの活動紹介	IBCラジオ(8時35分頃)
9/26(金)	プレ活フライデー in森のがっこう	活動紹介と交流会	森のがっこう
9/27(土)	どんぐりのぼうし	幼児親子対象森暮らし体験	森のがっこう
9/27(土)	間伐倶楽部	間伐・集材体験	松崎実習林
9/28(日)	森業倶楽部	間伐材を利用した木工	薪の駅
9/28(日)	遠野少年少女グローバル体験	英会話での自然体験学習	森のがっこう
10/4(土)	森歩きを楽しむ会・秋編	オッホーの森の自然観察	森のがっこう

【編集後記】

それにしても暑い。地球沸騰化という言葉も科学者達から言われる程、気候変動が激しさを増しています。少しずつでも対策を進めたいものです。

暑い夏にお勧めなのが、シャワークライミングです。森の中の清流で、川の中を水浴びしながら歩くと、暑さを忘れてリフレッシュできます。暑いといつて家の中に閉じこもっている方に、ぜひ体験していただきたいなあ～。(千葉)

発行: NPO法人遠野エコネット
令和7年8月5日発行
岩手県遠野市附馬牛町上附馬牛19-530
Tel&Fax 0198-64-2250
E-Mail: pahaya@tonotv.com



森の中でネイチャーゲームの様子。

森のがっこうでは、団体での自然体験の受け入れもを行っています。
夏休みに入った7月27日(日)には、遠野市立綾織小学校1年生の親子42名が学年親子レクリエーションとして、森のがっこうに来てくれました。
この日は、オッホーの森歩きに出かけていき、森の中で木登りやターザンといった自然の遊具で思いっきり遊びました。また、森の中で、「モス・バット」という目隠ししたコウモリ役とイモムシ役に分れて行うネイチャーゲームも楽しくできました。森から急斜面を降りる訓練をして、暑かったので川に入って水遊びもしました。
これからも、より多くの人達に、体験を通じて、森の豊かさ美しさを実感していただきたいです。

森のがっこう便りその12

花巻子ども劇場キャンプ受け入れ 6/7日(土)～8日(日)

花巻市を拠点に、様々な子ども達の体験活動を行っている「花巻子ども劇場」の小学生9人と親一人を受け入れ、森のがっこうで1泊2日のキャンプをしました。1日目は、午前中にテントやトイレ、ドラム缶風呂の設営、午後には田植えをしました。晩ご飯は、焚き木を集めての焚き火料理。夜はナイトハイクに出かけた後、キャンプファイヤーで盛り上がりました。翌日はテントを撤収した後で、森探検に。森の中で思いっきり遊んできました。



テントを設営する花巻子ども劇場の子ども達。

森歩きを楽しむ会・夏編 7/19(土)

夏編も奥畑充幸氏を講師に7人で森のがっこう周辺～オッホーの森を歩きました。この日は歩き出す前に、奥畑さんに粘菌や冬虫夏草の話をお聞きしたので、倒木や土の上などもじっくり観察。暑い日でしたが、森の中は過ごしやすく、夏の森を楽しみました。



7月の森歩きをの会で、森の小さな生き物も観察しました。

どんぐりのぼうし 7/26(土)

7月のどんぐりのぼうしは、幼児の親子12名が参加。はじめの会の後に、森探検へ出かけ、川で水遊びもしました。森から戻ると、お昼の豚汁づくり。野菜を切って、焚き火にかけた鉄鍋に入れて、美味しいお汁ができました。午後は、畑でソバの種まきをして、木陰でカエルさんの絵本の読み聞かせをして終了しました。



7月のどんぐりのぼうしでは、ソバの種まきをしました。

おひさまのねっこ 6/14(土) 7/12(土)

6月は小学生7名が参加。午前中は、森探検に出かけ、帰りに杉の葉や落ち枝を拾って来て、お昼のカレーライスづくり。火をおこして、焚き火で料理しました。午後は、4月に種まきした稲の苗で、田んぼに田植えをしました。スタッフに田植えの仕方を指導してもらい、初めて田植えする子どももありました。

7月は6名の小学生が参加。午前は昨年秋に種まきした小麦の刈り取りをしました。お昼は焚き火でハヤシライスをつくり、美味しくいただきました。午後は、水着に着替えて川遊び。川の水は少し冷たかったですが、子ども達は水をかけ合うなどして大はしゃぎ。暑さを忘れて楽しめました。



6月のおひさまのねっこで、田植えをする小学生たち。

hoshifuneワークショップ～バリ料理編 7/13(日)、呼吸と動き・トペン(仮面)編 7/21(月・祝)

昨年は影絵の創作キャンプを行ってくれたhoshifuneほしふねの小谷野哲郎さんと渡邊なおかさんのお二人が、今年はバリ文化を体験するワークショップとして、バリ料理と仮面のワークショップを開催しました。料理編には17人の親子が参加。小谷野さん達に指導していただき、小さな子どもから大人まで夢中になって、バリ料理に挑戦。本場のバリ料理を堪能しました。また、トペン(仮面)編にはスタッフも入れて13人が参加。午前中はバリ舞踏家である小谷野さんが、呼吸と動きについて指導。バリ舞踏の基本となる歩き方も学びました。お昼には、美味しいバリのスープカレーをいただき、午後はバリの仮面(トペン)について。最初に、ほしふねのお二人が面をつけて実演。その後、面の意味などを聞いた後、実際にバリの面をつけて体験会も行いました。バリの奥深い伝統に触れた2日間でした。



バリの仮面(トペン)をつけて演じてみる参加者。

活動報告（6月～7月）

炭っこ倶楽部 6/26(土)

今年度2回目の炭っこ倶楽部は、スタッフを含めた5名の他に、午後から遠野市内の高齢者デイサービス施設から13名が参加。北上市の千田淳氏(窯元・炭炭)を講師に、通常の炭出しなどの他、飾り炭づくりも行いました。その他に、炭窯の中に入り、炭材立て込みや、ノコギリでの丸太の輪切り、薪割りの体験も行いました。高齢者の方達は、かつて炭焼きをした経験者が多く、若かりし頃を思い出して、楽しんでました。出来上がった飾り炭は、良いおみやげになりました。



炭っこ倶楽部で、丸太をノコギリで輪切り体験する高齢者。

水源の森づくりプロジェクト 7/1日(火)

この日は土淵小学校4年生12名と遠野市の上水道施設であるたかむろ水光園を見学。担当の職員に施設内を案内いただき、琴畑高原から流れる水が、この施設で濾過層などを通してきれいな水として、水道水となっていることを説明いただきました。その後は、琴畑地区での取水施設に立ち寄り、琴畑高原へ。5月に植樹したミズナラの苗木の成長の様子を確認し、鎌で苗木周囲の草刈りもしました。



植樹したミズナラの苗木周囲を草刈りする土淵の小学生達。

山仕事ははじめの一步(入門)講座 6/8(日) 7/13(日)

6月の講座には、スタッフ合わせ18名が参加。この日から、いよいよ本格的な間伐の実習が始まります。6班に分かれて、受け口や追い口の作り方を切り株などで練習した後に、間伐を行いました。7月の講座には、スタッフ合わせて20名が参加。この日は、間伐した際に近くの間伐木に引っかかる掛かり木の安全な処理について実習しました。この掛かり木処理を誤ると、重大な事故につながるため、やってはいけない禁止事項も含めて、しっかりと学びました。



7月の山仕事講座では、安全な掛かり木処理を実習しました。

薪づくり倶楽部&森の笠地蔵プロジェクト 6/1(日) 7/6(日)

6月の薪づくりは15名が参加。時折、小雨が降る中での薪づくりでしたが、元気に薪作りをしました。また、森の笠地蔵プロジェクトとして、上郷町の高齢者宅に軽トラック2台で薪を配達しました。7月の薪づくりは猛暑の中での開催となりましたが、14名が参加。この日は、薪の駅だけではなく、木陰が涼しいため、近くの実習林内で、間伐した木の薪づくりをしました。



総合研究フォーラムの社会人達と間伐体験をしました。

間伐倶楽部 6/28(土) 7/12(土)

6月の間伐倶楽部は4名が参加。薪の駅近くの実習林にて、杉の間伐・造材を行いました。7月は総合研究フォーラムという首都圏の企業研修の間伐体験会を実施。35名の社会人と、松崎の実習林にて間伐の意義を説明後に、6班に分れて間伐や薪割り体験を行いました。

森業倶楽部 6/22(日) 7/27(日)

6月の森業倶楽部は11名が参加。宮守町の佐藤秀夫さんを講師に、午前中は実習林へ移動してヤマブドウのツルを採集。薪の駅で皮むきをしました。午後は、秀夫さんの指導でツル細工をしました。7月は上郷町の菊池光典氏(木暮工房)を講師に、午前中は製材した杉の間伐材の板を乾燥させる「さん積み」や、板の皮むきを行いました。その後、木工作品づくりに取り組みました。



6月の森業倶楽部では、ヤマブドウの皮むきを実習しました。